

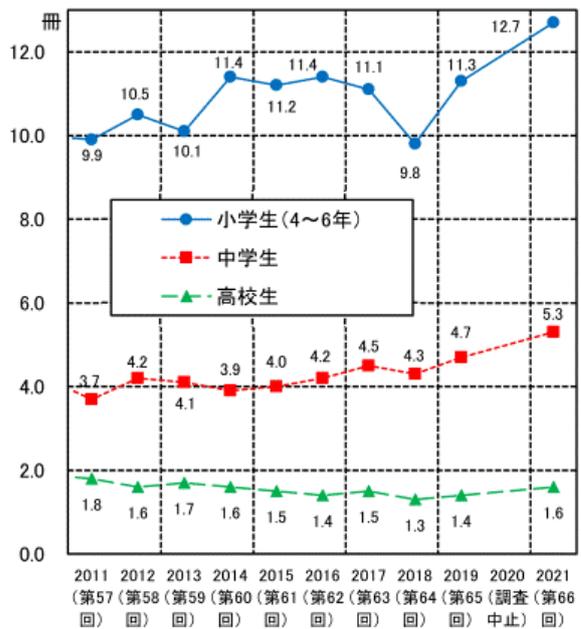
読書の勧め（冬休みの過ごし方）

12月18日の授業を終えると、補習校も冬休み(年末年始休み)です。今年度の授業日数は31日/40日となりましたが、コロナ禍のため、その内の13日が遠隔授業でした。(前期遠隔授業9日、後期4日現在)そのため、図書の本の貸し出しが十分に行われておらず、児童生徒の一人当たりの読書量(冊数)も少なくなっています。右下のグラフは全国学校図書館協議会が行った「学校読書調査」の結果です。この調査(2021年5月)では、1カ月間の平均読書冊数は、全国の小学生(4~6年)で12.7冊、中学生で5.3冊となっています。(年間の読書冊数は12倍を)



日本の学校においては、コロナ禍で家庭での読書量が少しだけ増えているようです。補習校では、どうでしょうか。コロナ禍前と後では、読書量はかなり減っているように思います。本に触れる機会が少なかった事が大きく影響をしているようです。読書は国語力を向上させると共に心も豊かに成長させます。今回、ポプラ社の電子書籍読み放題サービス(来年3月迄無料)を試験的に導入しました。もちろん、補習校の図書室の本も積極的に活用し、この冬休みの間にたくさんの本に出会えるとよいです。

過去5月1か月間の平均読書冊数の推移



休み期間中の過ごし方

児童生徒の皆さんの中には、国語の「読解力」に自信が持てない人もいますので、まずは「音読」に力を入れてみましょう。

音読には、「目で見る」「声に出して読む」「その声を耳から聞く」と言った視覚や聴覚を使っての学習が可能で、記憶力を鍛える効果もあるそうです。音読が不十分な場合は、すらすら読めるようになるまで繰り返し読んだり、本の内容についての感想を考えたりすることで、読解力は上がります。そのため年末年始の休み中は、是非とも読書をお勧めします。最後に、**事件や事故に注意し、安全に過ごしましょう。**

読書量調査(シンガポール日本語補習授業校)

一人当たりの読書冊数 [年間] 2021/11/16

年度	コロナ禍前		コロナ禍	
	2019	2020	2021(-11月)	
学年	12カ月間	12カ月間	8カ月間	
小学部	1	30	12	11
	2	34	12	14
	3	30	8	12
	4	29	10	8
	5	25	8	5
	6	13	7	3
	平均	27	10	9
中学部	1	7	0.4	0.8
	2	6	0	0.9
	3	2	0.6	0
	平均	5	0.3	0.6
全校平均	23	6	6	

「書道体験」の実施(11/6, 13)

11月に日本の伝統文化を学ぶ「書道体験」を行いました。まず、「書き初め」の由来を知り、次に、「水書」の体験を通して、日本の伝統文化に触れたり、親しんだりすることをねらいとしています。今回は、感染症対策のため普段使用している教室で実施しました。



書道を体験するよさ

① 正しい文字の書き方や筆の運びを身に付ける学習効果が期待されます。

② 「とめ・はね・はらい」の感覚が理解できます。

また、昨年度から補習校では水書を導入しています。そのメリット（よさ）は、

③ 服や部屋を汚す心配がなく、準備や後片付けも簡単になります。

④ 何度も繰り返し字を書くことができるので、正しい筆の運びを覚えます。

⑤ 水が乾けば、また繰り返し使えるので経済的です。

特に、「とめ・はね・はらい」に留意して字形を書くことは、まとまった字が書けるようになる秘訣です。この書道体験から、よく書こうとする意欲を持たせるとともに、多くの児童生徒が日本人会 書初め展に出品することを願っています。

日本人会「書き初め展」展示期間は、
1月1日（土）～1月16日（日）
作品展示場所（予定）は、
日本人会会館2階アトリウムです。
是非、足をお運び下さい。



行事予定【12月～1月の行事予定】

12月18日 平常授業（冬休み前最終授業日）冬休み図書貸出
年内事務業務取扱最終日（午後5時まで）

12月19日～1月3日 事務業務休止（1月4日から平常通り事務業務開始）

12月25日・1月1日 補習校の冬休み

2022年 1月8日 冬休み明け授業開始 1月15日 CRT学カテスト